

2012年3月

大分市議会議長 殿

国保税の値上げ中止を求める陳情書

「国保税が高くて払えない」「分割でやっと払っている」など、市民からは悲痛の声があがっています。長引く不況のなか、国保税の負担が重くのしかかり、限界にきています。ところが大分市は、国保税値上げ(案)を3月市議会へ上程するとしています。

今回の改正(案)では、国保医療分は据え置きし、第2号介護保険料(40歳～64歳)、後期高齢者医療支援分の引き上げが主なものとなっています。平成25年度で予想される赤字分を平成23年度水準まで圧縮するとしています。そのために毎年1億5千万円の繰り入れをしていますが、それでも一人当たりの課税額は平均で2,967円の値上げ(2.82%)の引き上げとなります。

年金受給額は下がる一方なのに、介護保険料・後期高齢者医療保険料の負担増が予定されており、その上国保税の値上げがおこなわれれば、市民生活を圧迫し、景気悪化を加速することは必至です。

一般会計からの繰り入れを増額するなどして、国保税の値上げを中止すること、また低所得者に配慮した税率改正とすること、市独自の減免制度の拡充、受診抑制となっている資格証明書の発行を中止することなど、命と健康を守る国保制度への改善が強く求められています。よって下記事項について陳情します。

記

- 1 一般会計からの繰り入れを増やすなどして、国保税の値上げを中止すること。

氏名	住所

取り扱い団体 ()